

今週も順調に撮影が続いています

瀬戸外国人健康チェック、リビングウィル班会、ゆうゆう村発表会



瀬戸外国人健康チェックの撮影風景

記録映画撮影依頼書は

現在 106 枚

支部ブロック計	35 枚
南生協病院	33 枚
かなめ病院	17 枚
きままでんぐ苑	8 枚
診療所	5 枚
老健あんき	3 枚
訪問看護ステーション	1 枚
つぼみ保育所	1 枚
本部	3 枚
事業所分計	71 枚

**1班1枚、1職員1枚で
さらに発信していきましょう。**

撮影におじゃまするところへは、連絡が行きますのでよろしく願いいたします。

*映画製作ニュースは、南医療生協ホームページ <http://www.minami.or.jp/> でも読むことができます。

12月12日(日)

瀬戸外国人健康チェック

瀬戸外国人健康チェックは今年で3回目。12月12日当日は、約90名の体制で、28名の外国人の方の健康チェックを行ないました。

今年は、事前の健康チェックサポーター講座にも参加された、地元団地の萩山自治会の皆様が中心となって開催されました。

地元の皆様と南医療生協組合員、職員の協働のとりくみと、これからのいろいろなおつきあいの始まりになった、つながりの場面を撮影していただきました。

12月10日(金)

「大府の班会に映画班がきた」

12月10日は、大府東浦ブロック北山東山支部の北山班のリビングウィルの班会(12/10)で撮影を行ないました。

倫理委員会の福島課長を講師に、地域の公民館で行いました。「リビングウィルでは解りづらいんじゃない…」と不安の中集まった方々は、「その人の意思を尊重し家族で日頃話しておくことが大切。」など話を聞き、皆さん満足されていました。

「生協ゆうゆう村発表会」

生協ゆうゆう村で開催した発表会に映画班が入りました。わいわい長屋で地域の皆さんや、きままでんぐ苑利用者さまにも参加していただいた班づくりのとりくみ。ヘルパーステーションからは、認知症の患者さま家族との支えあいの中で、「もう少し遅れていたら、うちの家族も事件になっていたかも知れない。」という事例が発表されました。